



PHILIPS

Healthcare

Seminar

日本超音波医学会第 95 回学術集会

The 95th Annual Scientific Meeting of the Japan Society of Ultrasonics in Medicine

ランチョンセミナー10

日時：2022年5月21日（土）12:30 - 13:30

会場：第8会場 名古屋国際会議場 4号館3F 会議室431 + 432

※参加方法について詳しくは学会HP (<https://www.congre.co.jp/jsum95/index.html>)
をご確認ください。

3D 経胸壁トランスジューサ発売20周年に寄せて

座長：瀬尾 由広 先生（名古屋市立大学大学院医学研究科 循環器内科）

1. CTRCD における心エコー図検査体制の確立秘話

演者：出雲 昌樹 先生（聖マリアンナ医科大学 循環器内科）

2. 経胸壁3D エコーで Etiology に迫る

演者：石津 智子 先生（筑波大学 医学医療系 循環器内科）

※セミナーは、整理券制です

※ランチョンセミナー整理券 配布について

配布場所：名古屋 国際会議場 1号館 1F アトリウム

配布時間：5月21日（土）7:30-12:10

※先着順に配布し、整理券をお持ちの方から優先的に入場いただきます

※整理券が無くなり次第、配布終了です

※整理券は、セミナー開始と同時に無効となります



共催：日本超音波医学会第 95 回学術集会
株式会社フィリップス・ジャパン

3D経胸壁トランスジューサ発売20周年に寄せて

座 長：瀬尾 由広 先生（名古屋市立大学大学院医学研究科 循環器内科）

1. CTRCDにおける心エコー図検査体制の確立秘話

出雲 昌樹 先生（聖マリアンナ医科大学 循環器内科）

10年前、私は「抗がん剤治療関連心筋障害（CTRCD）の早期発見に努めませんか？」と院内で提案するも幾多の壁にぶつかった。CTRCDに対する認識のバラつき、検査数増加への懸念、予約枠の問題など進まない理由はいくらでもあった。院内でのCTRCDの経験、多くのエビデンスやガイドラインが構築され、社会は変化してきた。あれから10年、私の違和感はまだ払拭できない。心エコー図検査を必要としているがん患者さんに対して検査は漏れなく行えているか？本セッションではこのような疑問を解決すべく検査体制確立に取り組んだ秘話と、フィリップスの超音波装置がその検査体制にどのように貢献しているかをお話させて頂き、今後の心エコー図検査の在り方について皆様と共に考えていきたい。

2. 経胸壁3DエコーでEtiologyに迫る

石津 智子 先生（筑波大学 医学医療系 循環器内科）

経食道3Dエコーは、構造的な心疾患の診断に今やなくてはならない検査法である。一方、経胸壁3Dエコーが市販され始めてから早くも10年以上の年月が過ぎたが、未だ3Dが構造的な心疾患のルーチン検査として根付いているとは言い難い。近年の超音波技術は、経食道3Dエコーに迫る美しい画像を経胸壁3Dエコーで目指してますます進歩しているという。そこで今回、最新の経胸壁3Dエコーが、どこまで構造的な心疾患の病態に迫ることができるのか、経験と有用性を共有したいと思う。

機器展示のご案内

会 期：2022年5月20日（金） - 22日（日）
会 場：名古屋国際会議場 1号館 1F イベントホールD フィリップスブース
〒456 0036 愛知県名古屋市熱田区熱田西町1番1号
展示装置 EPIQ Elite, EPIQ CVx, Affiniti70, Lumify



製造販売業者

株式会社フィリップス・ジャパン

〒108-8507 東京都港区港南 2-13-37 フィリップスビル
お客様窓口 0120-556-494
03-3740-3213

受付時間 9：00～18：00

（土・日・祝日・年末年始を除く）

www.philips.co.jp/healthcare

記載されている製品名などの固有名詞は、Koninklijke Philips N.V. またはその他の会社の商標または登録商標です。

©2022 Koninklijke Philips N.V.



販売名：超音波画像診断装置 EPIQ/Affiniti
医療機器認証番号：225ADBZX00148000
管理医療機器/特定保守管理医療機器

販売名：超音波画像診断装置 Lumify
医療機器認証番号：302AFBZX00043000
特定保守管理医療機器/管理医療機器